

開講期	2025年度前期、2025年度後期			単位数	4.0単位
科目[授業]名	5911 古代の文化と言語表現			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	クラス指定			定員	
履修可能学年	3年/4年	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	木曜4限				
教室	H206教室				
代表教員	津田 博幸				
担当教員	津田 博幸				
テーマと到達目標	日本古代の文学・言語・文化について、自分で問題を設定し、自分で調べて資料を集め、文献を読解して分析し、発表資料を作って仲間に向けて発表し、他者の批判にきちんと向き合い、さらに熟考して最終的に論文を書く、ということができるようになることを目指す。学生主体の授業、と言うより学生による「研究会」になること、各自がその中で主体的に自らの研究を展開することが目標である。				
概要	個人発表と全体討議が中心の授業となる。研究領域を例示すれば、『古事記』などの神話や伝説、『万葉集』などの和歌、『日本霊異記』などの仏教説話、『源氏物語』などの物語、六国史などの歴史または日本漢文、等々である。ただし、方法を共有できるなら古代日本以外の対象を扱うテーマも柔軟に受け入る。また、言語表現分析のトレーニング（辞書を引き引き文献を読むような作業）も授業に組み込む				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	卒業論文執筆心得の確認。受講生の相互理解のワークショップ。				対面授業
第2回	先行研究批評『古事記』等				対面授業
第3回	先行研究批評『万葉集』等				対面授業
第4回	先行研究批評『日本霊異記』等				対面授業
第5回	先行研究批評『竹取物語』等				対面授業
第6回	先行研究批評『源氏物語』				対面授業
第7回	先行研究批評・古代日本語				対面授業
第8回	先行研究批評・古代日本文化				対面授業
第9回	卒業論文中間報告・神話関連				対面授業
第10回	卒業論文中間報告・和歌関連				対面授業
第11回	卒業論文中間報告・仏教説話関連				対面授業
第12回	卒業論文中間報告・物語関連				対面授業
第13回	卒業論文中間報告・古代日本語関連				対面授業
第14回	卒業論文中間報告・古代日本文化関連				対面授業
第15回	前期ゼミでもたらされた知見等の整理と批評				対面授業
第16回	3年生各自の個人研究テーマについて合評				対面授業
第17回	3年生の個人テーマ発表・神話関連				対面授業
第18回	3年生の個人テーマ発表・和歌関連				対面授業
第19回	3年生の個人テーマ発表・仏教説話関連				対面授業
第20回	3年生の個人テーマ発表・物語関連				対面授業
第21回	3年生の個人テーマ発表・古代日本語関連				対面授業
第22回	3年生の個人テーマ発表・古代日本文化関連				対面授業
第23回	3年生各自の卒業論文構想への合評				対面授業
第24回	卒業論文最終報告・神話関連				対面授業
第25回	卒業論文最終報告・和歌関連				対面授業

第 2 6 回	卒業論文最終報告・仏教説話関連		対面授業
第 2 7 回	卒業論文最終報告・物語関連		対面授業
第 2 8 回	卒業論文最終報告・古代日本語関連		対面授業
第 2 9 回	卒業論文最終報告・古代日本文化関連		対面授業
第 3 0 回	後期ゼミでもたらされた知見等の整理と批評		対面授業
成績評価の基準	(1)口頭発表のための調査、立論、発表資料作成が十全であったか、明快で説得力のある発表ができたか。 (2)自身の発表への批評に対して適格に應對し、研究の進展に生かせたか。 (3)他者の発表を適格に理解し、批評できたか。(4)3年生には発表を文章化してレポートとすることも求める。		
履修にあたっての留意事項	・オンライン授業の併用は原則として行わないが、受講者に病気等のやむをえない事情がある場合はZoom中継の視聴および講義後のZoom録画の視聴を認める。希望者は講義開始の30分前までにポータル「授業Q&A」で申し出ること。		
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細			
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件			

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	なし。		
教科書	プリントを配布。	教科書(ISBN)	
参考文献	毎回の発表テーマ等に合わせて適宜指示する。	参考文献(ISBN)	